

交付運用報告書等に関する有識者との意見交換会 議事要旨

1. 日時	平成 25 年 11 月 29 日（金） 13:00-15:10
2. 出席者	・有識者 - 石川 由美子 氏 (株)トーキョー・インベスター・ネットワーク代表取締役 - 神 戸 孝 氏 FP アソシエイツ&コンサルティング(株)代表取締役 ファイナンシャル・プランナー - 島 田 知 保 氏 専門誌「投資信託事情」発行人兼編集長 - 竹川 美奈子 氏 LIFE MAP, LLC 代表 - 永沢 裕美子 氏 FosterForum 良質な金融商品を育てる会 事務局長 - 山 崎 俊 輔 氏 フィナンシャル・ウィズダム代表 ・日本証券業協会 ・投資信託協会 投資信託の制度に関する専門委員会委員
3. 議案	1. 交付運用報告書の改善について 2. 交付目論見書におけるリスク表示について
4. 主な意見	1. 交付運用報告書の改善について ・専門用語は依然として難しく、見直しの必要がある。 ・表や数字が多過ぎ、コミュニケーションツールとは言い難い。 ・字を大きくし、言葉を少なくして欲しい。詳細を必要とする人には全体版を見てもらえば良い。 ・8 頁、最大でも 12 頁に抑えるべきである。 ・NISA により若年層等に投信の裾野が広がる時期であり、分かり易く親しみやすい運用報告書を目指すことは良い試みである。 ・ファンドマネージャー又は運用チームのコメントを掲載して欲しい。 ・運用方針と実際の運用が一致しているか判断できるコメントを記載すべきである。 ・グラフは、並べて比較できるよう軸を共通化して欲しい。 ・定量情報はファンド類型毎にフォーマット化されると比較しやすく良い。定性部分については、運用行動、変化等の項目を定めて各社の裁量に任せると差異が分かっている。 ・販売会社は、この交付運用報告書を使って投資家がレビューする習慣を促す等の教育に取り組んで欲しい。 この他、以下の点について具体的なお意見を頂きました。 ・基準価額のグラフにおいて分配金をいかに表現するかについて ・「ファンドデータ」にファンドの損益の状況を記載することについて ・ポートフォリオの内容表示（特にパイチャート、ブルベア型）について ・コストの表示について

	・ファンドデータについて ・運用体制に関する記載について 2. 交付目論見書におけるリスク表示について ・リスクと損とは同義でないことを周知しなければならない。リターンと違い、リスクはコントロールできることを教育する工夫をして欲しい。 ・リスク表示は他の資産との比較のきっかけになるので、交付目論見書だけでなく、交付運用報告書にも載せて欲しい。
--	---